

■ 関西大学博物館開設20周年記念 ■

斯界の第一人者から資料の扱い方を学べる実践研修会

「博物館の明日をきたえる」を開催

～ 学生・一般・現職の方を対象とした「表装」「日本刀」「煎茶」の実践研修 ～

関西大学では、6月23日（月）・28日（土）・7月7日（月）の3日間、千里山キャンパスにて関西大学博物館開設20周年記念 博物館実習実践研修会「博物館の明日をきたえる」を下記のとおり実施します。（受講申込は好評につき締切となりました）

本研修会は、同館の学芸員養成機関としての取り組みを拡大し、斯界の第一人者から実践を通して、資料の取り扱い方法を学ぶことができる内容となっています。また、将来学芸員を志望する学生や興味・関心を持つ一般の方のみならず、研究職・専門職・教育職等に従事されている方や現職の学芸員を対象とした研修会であることも大きな特徴です。

関西大学博物館は、1994年4月に開館し、このたび20周年を迎えました。同館を中心とした本学の学芸員養成プログラムでは、前身の考古学等資料室の時代から50年あまり、所蔵する現物資料を使い、資料に向き合う姿勢を大切にして、伝統と先取性のバランスを保った有為な学芸員の養成に努めています。

記

- | | | |
|-------------|----|--|
| 【第1回 表装研修】 | 日時 | 6月23日（月）13：00～14：30 |
| | 講師 | 藤枝 宏治 氏（表具工房・藤枝春月） |
| 【第2回 日本刀研修】 | 日時 | 6月28日（土）10：00～11：30 |
| | 講師 | 河内 國平 氏（刀匠）
河内 晋平 氏（東京藝術大学大学院専門研究員） |
| 【第3回 煎茶研修】 | 日時 | 7月 7日（月）13：00～14：30 |
| | 講師 | 佃 一輝 氏（煎茶・一茶菴宗家） |

場 所 千里山キャンパス 簡文館（博物館）増築棟1階 大阪都市遺産セミナー室
吹田市山手町3-3-35
（阪急電鉄「関大前」駅下車 北出口から徒歩約10分）

以 上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、依藤
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax. 06-6368-1266
www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



■ 関西大学博物館20周年記念 博物館実習実践研修会「博物館の明日をきたえる」開催概要

【第1回 表装研修】

日時 6月23日(月) 13:00~14:30

講師 藤枝 宏治 氏(表具工房・藤枝春月)

内容 学芸員が日頃取り扱っている作品「掛軸、卷子、額、屏風」等で、修理を必要とする判断基準や、なぜこのように傷んだかという原因を考え、どんな材料を使い、どのように修理し表装していくかということを表具屋の立場から話をする。額、屏風の構造、修復や表装に使う材料等も紹介。

【第2回 日本刀研修】

日時 6月28日(土) 10:00~11:30

講師 河内 國平 氏(刀匠)・河内 晋平 氏(東京藝術大学大学院専門研究員)

内容 日本刀の歴史や魅力などについて講義。実際に刀剣を手にして鑑賞の仕方や手入れ、取り扱い方法を学ぶ。

【第3回 煎茶研修】

日時 7月 7日(月) 13:00~14:30

講師 佃 一輝 氏(煎茶・一茶菴宗家)

内容 江戸中・後期に大坂町人、読書人に行われた煎茶を、実際の煎茶会を体験しながら学ぶ。軸の絵や詩を読み解き、ディスカッションする「会読」の文化を体現。

【場所】 千里山キャンパス 簡文館(博物館)増築棟1階 大阪都市遺産セミナー室

吹田市山手町3-3-35

(阪急電鉄「関大前」駅下車 北出口から徒歩約10分)

【対象】 博物館資料の取り扱いについて興味・関心を持つ方、学芸員を希望する学生、研究職・専門職・教育職等に従事されている方など

【定員】 各回30名(受講申込は好評につき締切となりました)

以上